

お住まいの窓やドアへの 台風や暴風雨時の備え ＜事前の準備と注意事項など＞

台風や暴風雨時は、強風による窓の落下や、大雨による漏水など、大きな事故につながるおそれがあります。日ごろから点検をおこない、不具合や異常を発見した際には、建築会社、工務店、管理人（管理会社）、または販売店に相談しましょう。安全の確保と被害を小さくするために、常に気象情報に注意し、次のような対応をしてください。

台風がくる前に・・・

庭やバルコニーに出ているものを片づけてください

庭やバルコニーなどに置いてある物干し竿や植木鉢などは、室内に入れるかしっかり固定をして飛ばないようにしてください。飛ばされたり、物干し竿や植木鉢などが窓やガラスに当たったり、落下して人にぶつかったりするおそれがあります。



窓の下枠などを清掃してください

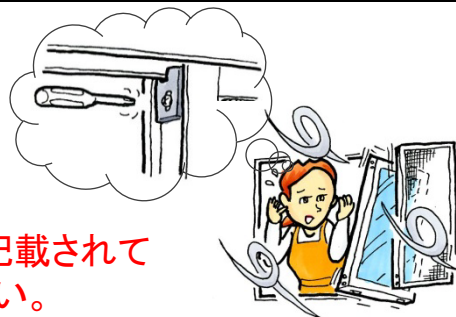
窓の下枠やバルコニーの排水溝を清掃してください。砂やゴミ、落ち葉などがたまっていると水があふれて住居内に水が浸入するおそれがあります。



窓や網戸のはずれ止めを確認してください

窓や網戸のはずれ止め部品がセットされていることを確認してください。セットしていないと強風ではずれ、飛ばされるおそれがあります。

※取扱説明書や製品に貼付されているラベルに記載されている内容をよく読み、正しい作業を行ってください。



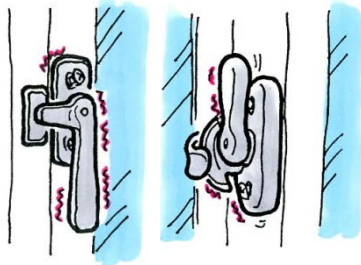
窓やドアをロックしてください

窓やドアは完全に閉めて、クレセント、ハンドルなどで確実にロックしてください。強風により窓やドアがあおられて破損、落下するおそれがあります。



ねじがゆるんでいないか確認してください

クレセント、ハンドルなどにがたつきがある場合は、取付けねじを締め直してからロックしてください。ねじがゆるんでいると、部品や障子が落下するおそれがあります。



電動商品の取扱い方法を確認してください

停電が発生した時に備え、シャッターなどの電動商品の取扱い方法については、メーカーの取扱説明書やホームページなどで事前に確認しておいてください。



窓周辺に濡れて困るものは置かないでください

窓の周辺に濡れて困るものは置かないでください。強風により、窓周りから雨水が吹き込むおそれがありますので、雑巾やタオルを近くに準備しておいてください。



台風がきたら・・・

シャッターや雨戸を最後まで閉めてロックしてください

必ずシャッターや雨戸を最後まで閉めてロックしてください。強風による飛来物により、ガラスが割れるおそれがあります。また、割れたガラスの飛散を防ぐため、室内のブラインドやカーテンを閉めてください。



シャッターや雨戸と一緒に窓も閉めてください

強風雨時にはシャッターや雨戸だけではなく、必ず窓も閉めてロックしてください。窓を閉めない、シャッターや雨戸の破損や漏水などにつながるおそれがあります。



雨水が吹き込んだら、雑巾などを当ててください

雨水が窓周りから吹き込んだ場合は、準備しておいた雑巾やタオルなどを、窓枠に当ててください。

※濡れた雑巾などで床や木額縁が、
水染みにならないように注意してください。



窓やドアの開閉を控えてください

窓やドアの開閉はできるだけ控えてください。どうしても開閉しなければならないときは、手をはさんだり、ドアがあおられるおそれがあるので、十分に気をつけてください。



台風が通過したら・・・

窓やドア、バルコニーの点検をしてください

窓やドアの開閉に異常がないか、窓のガラスやバルコニーなどに、破損やひび割れがないか、点検してください。

異常や破損などがあった場合は、建築会社、工務店、管理人(管理会社)、または販売店に連絡してください。

※高所での作業は大変危険ですので絶対におこなわないでください。
高所の作業および点検は、専門業者へご相談ください。

